

授業 コード	11208	科目名	社会心理学実験実習		担当者		村上 幸史			
		副題		開講期	前期	単位数	1	DP対応	S1,S2	
【授業概要】										
社会心理学の代表的なデータ測定の手法を体験して、それをもとに報告型のレポートを書くスキルを養います。										
【到達目標】										
データの収集や処理方法を学び、報告型のレポートを書くことができる。										
【授業方法・計画】										
授業内容は実験や観察の説明、データ収集とデータ分析の順に行います。進行進度により、一部講義内容を変更する場合があります。										
第1回	オリエンテーション									
第2回	実験法1(社会的ジレンマ)									
第3回	実験法1(社会的ジレンマ)・レポートの書き方									
第4回	実験法1(社会的ジレンマ)・レポートの書き方									
第5回	実験法1(社会的ジレンマ)・レポートの書き方									
第6回	実験法1(社会的ジレンマ)・レポートの書き方									
第7回	観察法1(儀礼行動におけるコミュニケーションの観察)									
第8回	観察法2(対人認知とステレオタイプ)									
第9回	観察法2(対人認知とステレオタイプ)									
第10回	実験法2(身体化された認知)									
第11回	実験法2(身体化された認知)									
第12回	実験法2(身体化された認知)									
第13回	質的データの分析(向社会的行動に関するアーカイブデータの分析)									
第14回	質的データの分析(向社会的行動に関するアーカイブデータの分析)									
【準備学習・復習】										
実験や観察に関する配付資料を読み直すこと。また必要な文献も入手して読んでおくこと(120分)										
【課題に対するフィードバックの方法】										
提出されたレポートは採点して返却します。										
【受講上のアドバイスおよび注意事項】										
測定方法、データ分析、レポートの執筆に関連するものとして、エクセルの基本的な操作や統計学の知識、論文の書き方など、基礎的なことについて、他の講義(コンピューターリテラシー2、統計学、教育評価)も合わせて受講してください。実習内で測定したデータをもとに課題を作成してもらいますので、毎週の参加が必須条件であると考えてください。										
成績評価方法	授業への参加(10%)、及び提出されたレポート(90%)で評価します。									
教科書	特にありません。									
参考書	特にありません。									
SP2204	授業に関連する実務経験				なし					